

会員投稿

## 『水墨画へのおさそい』

尾島町 宮下 玉吉

墨画を習い始めたのは、平成9年4月からもう5年目になります。最近どこの家でも、床の間や部屋に、水墨画の掛軸や額が飾ってあるのを見ますが、親しみがあって、心が和みます。水墨画は技術的に、難しいと思ったが、妻の急逝もあって、これを契機に入門することにした。町の公民館便りで受講生を募集していたので応募する。当日集まった人は男女夫々5名計10名で、今迄も習っていた方も数名いた。

一応全員初心者として、月2回の稽古日に西公民館に集まって、基本の四君子から教えてもらう。なかなか思う様に筆が走らない、それでも一年間勉強を続けた甲斐あって、お手本を見ながら、何とか描くことができるまでになった。先生からは実物をよく観察して、その花の形や性質を知ることが大切ですよとされています。

私たちにとって、一番身近で一番親しみ易いものが「花」ではないでしょうか。花は常に私たちの、身のまわりにあり、また季節の移り変わりによって、さまざまな色彩や表情をみせ、私たちの心を和ませてくれます。

一方水墨で風景を描く人も多いと言われます。深山幽谷、清流や溪谷、温かい味を感じさせる民家などの風景画、更に仏像などを描いてみたいと思っています。私には結構時間があります。有効に利用して、墨画を描き続けたいと思っています。(おわり)

## 『赤城倶楽部』関連ニュース

1. 室内装飾のため、次の方々に、お願いし作品を借用展示させていただいています。殺風景な部屋が生き生きしました。(敬称略)
  - ・永沼 進 「書」4点(6畳間)
  - ・宮下 玉吉 「水墨画」1点(6畳間)
  - ・首藤 敬一 「洋画」1点(4畳半の間)
2. 備品等ご恵与、ご協力ありがとうございました。
  - ・齋藤 慶蔵 お茶道具、小物工具
  - ・長谷川 哲夫 吸い殻収集缶
  - ・石尾 延也 空気清浄器
  - ・永沼 進 こたつ上板

## 訃報

萩原百三さん(尾島町 享年80歳)は3月9日、病気のためご逝去されました。ご冥福をお祈りするとともに、お知らせいたします。